

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 西田、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第14週（令和5年4月3日～令和5年4月9日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第14週は、県内で今年1例目となるデング熱の報告がありました。デング熱は、ウイルスを持つ蚊に刺されることによって感染します。潜伏期間は2～14日（多くは3～7日）で、突然の高熱で始まり、頭痛や筋肉痛などの症状が現れます。発症後、3～4日後に胸部・体幹に発疹が現れ、手足や顔に広がります。デング熱は、熱帯や亜熱帯の全地域で流行しています。デング熱の感染を予防するためには、虫よけスプレーを使用するなど、蚊に刺されないようにすることが重要です。デング熱は、早期に適切な治療が行われなければ、まれに重症化して死に至ることがあります。気になる症状がある方は、速やかに医療機関を受診し、渡航先などを医師に伝えてください。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	151	203	3,043
A型肝炎	1	2	0	17
デング熱	1	1	3	15
アメーバ赤痢	1	9	7	129
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	25	17	427
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	11	18	221
梅毒	8	198	203	3,480

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

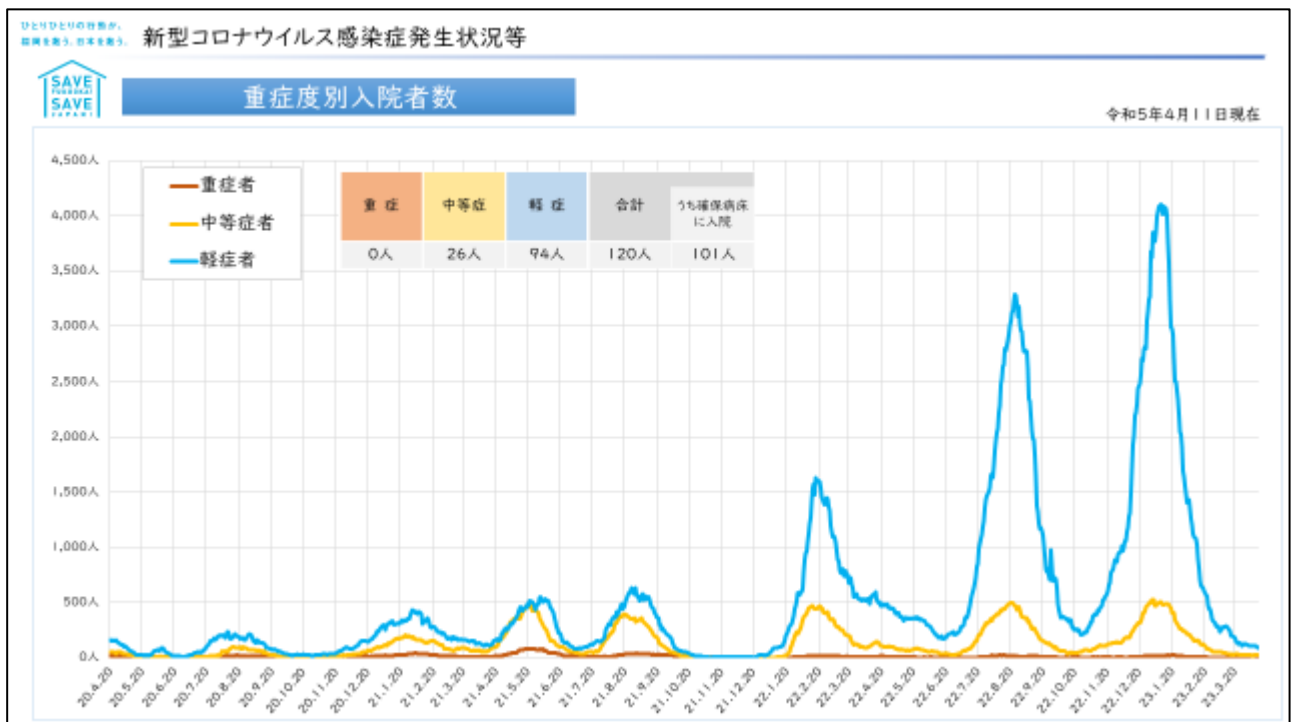
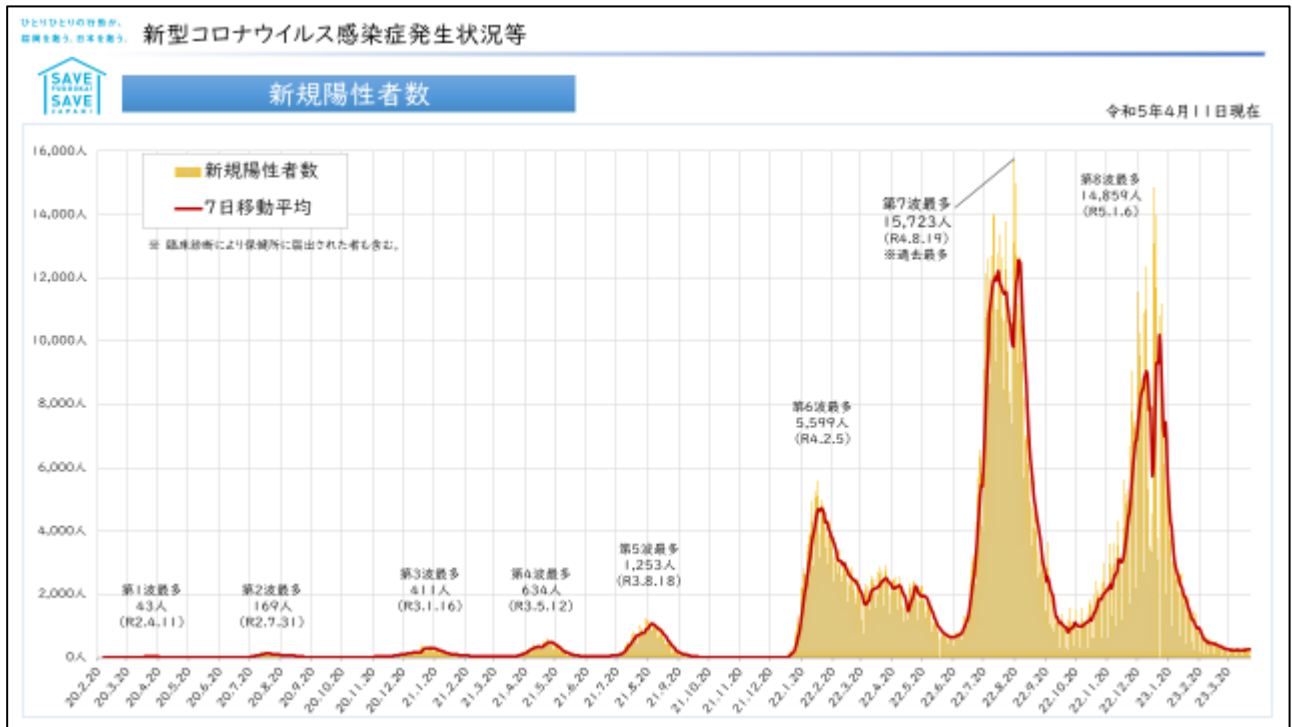
■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	600	3.03	0.60	20,013	4.06
RSウイルス感染症	106	0.88	1.28	1,514	0.48
咽頭結膜熱	36	0.30	1.00	578	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	244	2.03	0.87	1,624	0.52
感染性胃腸炎	518	4.32	1.05	11,712	3.73
水痘	13	0.11	1.86	259	0.08
手足口病	11	0.09	0.65	277	0.09
伝染性紅斑	2	0.02	-	24	0.01
突発性発しん	41	0.34	0.93	755	0.24
ヘルパンギーナ	40	0.33	0.57	312	0.10
流行性耳下腺炎	3	0.03	0.75	97	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	3	0.00
流行性角結膜炎	7	0.27	1.40	152	0.22
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	9	0.02
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	0.00	5	0.01

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>